

## 地域・保護者・学校関係者への教育長メッセージ ③④

### 『FIFA ワールドカップカタール大会と神野大地選手講演会』

FIFA ワールドカップカタール大会が終わりました。サッカーに勇気と励ましをもらった一ヶ月でした。サッカーという競技の底力を感じました。手を使うスポーツと異なり、思い通りにならない足を使うスポーツ。番狂わせも起きやすく、それがまたドラマとなります。日本も強豪のドイツとスペインを破るという大金星をあげました。アルゼンチンが36年ぶりに優勝。伝説のディエゴ・マラドーナの活躍以来の快挙となりました。リオネル・メッシの涙。優勝トロフィーにキスをし、持ち上げた姿に感動しました。メッシはマラドーナに近づいたと思いました。メッシに憧れる若者や少年たちが、次のアルゼンチンのサッカーを受け継いでいくのでしょうか。国を挙げての応援。選手とサポーターが一体となり、アルゼンチンの応援歌を歌う姿に熱いものを感じました。

津島市では、スポーツレジェンドをよび、チャレンジする心を育てる講演会を実施しました。これは以前実施していた豊かな心を育てる推進事業を受け継ぐ行事です。十二月十四日と十五日に市内四中学校で、市のふるさと応援広報大使の神野大地選手に来て頂きました。神野選手は神守小学校、神守中学校出身。正月恒例の箱根駅伝で、山登りの五区で、三代目山の神として活躍し、二年連続の青山学院大学の総合優勝の原動力になりました。まさに箱根駅伝のスーパースターです。「努力は裏切らない」「人生の選択、自分で選択してきたので、今、後悔はないと言い切れる。進路選択は最終的には自分で選択を」そんな言葉を頂きました。二日間私は帯同したのですが、神野選手はとてもフレンドリーで親しみのもてる好青年でした。市内の中学生の皆さんは、そのポジティブなプラス思考の考え方に触れることができ、今後の生き方の指針となったと思います。

今年から「はたちの集い」と名称が変わりましたが、「はたちの集い実行委員会」の皆さんと市長を囲む会に同席しました。夜遅くまで、若くて柔らかな考え方にふれることができました。市政に対しても前向きな意見をうかがうことができました。「名鉄津島駅の再開発」「インスタグラムなど SNS を活用した情報発信」「大学との連携」など街づくりを進めるキーワードをお聞きしました。教育委員会からは、「AI ロボットを活用したプログラミング授業」「名古屋にある領事館を窓口とした国際交流」についてお話をしました。キラリと光る津島の教育のあり方についても意見をうかがいました。若者たちがいずれ住みたくなる津島の街づくりについて一緒に考えました。

冬空や始業のチャイム鳴り響く  
コロナ禍や花手水にも初氷

令和5年1月5日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視